

31 ヨハネ 10 章 7-21 節

1、「内容観察」この箇所を自分の言葉で表現してみましょう。どんなことが記されてありますか？

2、イエス様はここでご自分のことを「わたしは・・・です」と例えで言い表しています。なんといいていますでしょう。

・(7)

・(11)

3、イエス・キリストという門を通して入るならどうなる？何を得る？と教えられていますか。(9)

※ここからイメージする「イエス・キリストという門」はどのようなものですか？

◎門から入らず、他の所を乗り越えてくるものは強盗であり、盗人だと言われています。そして「羊たちは彼らの言うことを聞きませんでした」と言われていますが、どうしてだと思えますか？

・ではその強盗であり盗人の声を聞いてついて行った者とはどういう者だったと思えますか？

・強盗であり、盗人が呼び、誘い、連れて行くのは、その羊を幸せにするためですか？どうするためだとイエス様は教えていますか？(10)

・この強盗であり、盗人の霊は何の霊だと思えますか？(ヨハネ 8:44)

4、イエス様はご自分を「良い牧者です」と証しました。良い牧者はどうすると言われていますか？またそれはどういうことで成就したのですか？(11)

・「良い牧者」と「雇い人の牧者」との違いはどんなものですか？根本的な違いはどこにあると思えますか？(12-15)

・16節で、イエス様は「わたしにはまた、この囲いに属さないほかの羊たちがいます。それらも、わたしは導かなければなりません。その羊たちはわたしの声に聞き従います。そして、一つの群れ、一人の牧者となるのです」と言われています。その人たちとは誰だと思えますか？

※これがイエス様の御心なのです。

5、イエス様が語られたこの言葉を書き写し、このことについて話し合ってみましょう。(18)

6、今日の箇所を通して、神様はどのようなお方でしょう。またどんな約束、模範がある？またどんな注意、戒めがある？